

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 20 年度調査）
後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）

1. 目的

- ・処方せん様式等の変更による後発医薬品の使用状況の把握
- ・後発医薬品の使用に関する医療機関・医師、患者の意識の把握
- ・後発医薬品の使用が進まない理由等の把握

2. 調査対象

- ・本調査では、「保険薬局調査」「診療所調査」「病院調査」「医師調査」「患者調査」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。
- ・保険薬局調査：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した 2,000 施設。
- ・診療所調査：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した 2,000 施設。
- ・病院調査：全国の病院の中から無作為に抽出した 1,000 施設。
- ・医師調査：上記「病院調査」の対象施設において外来診療を担当している医師。1 施設につき、診療科の異なる医師 2 名を対象とした。
- ・患者調査：上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に処方せんを持って来局した患者。ただし、1 施設につき最大 4 名の患者を対象とした（4 名の内訳は 65 歳以上の男性・女性 各 1 名、65 歳未満の男性・女性 各 1 名）。

3. 調査方法

- ・対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・「保険薬局調査」については、施設属性、処方せん枚数、後発医薬品の調剤状況等を尋ねる「様式 1」と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる「様式 2」の 2 種類の調査票を対象施設の管理者宛に郵送配布した。記載された調査票は調査事務局宛の返信用封筒にて回収した。
- ・「診療所調査」については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況と使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を対象施設に配布した。記載された調査票は、調査事務局宛の返信用封筒にて回収した。
- ・「病院調査」については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「病院票」を配布した。記載された調査票は、調査事務局宛の返信用封筒にて回収した。
- ・「医師調査」については、医師に後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医

師票」を配布した。配布に際しては、上記の「病院調査」の対象施設を通じて行ったが、回収は、各医師から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収した。

- ・「患者調査」については、上記の「保険薬局調査」の対象施設を通じて「患者票」を配布した。調査日に来局した患者の中から、来局順に性別・年齢カテゴリごとに該当する患者で同意を得た患者に調査票を配布していただいた。記載された調査票は、各患者から調査事務局宛の返信用封筒にて直接回収した。
- ・調査実施時期は平成 20 年 11 月～平成 21 年 2 月。

4. 調査項目

調査区分	種類	主な内容
保険薬局調査	様式 1	<ul style="list-style-type: none"> ○薬局の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・組織形態、職員数 ・調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無、後発医薬品調剤体制加算の有無、後発医薬品調剤率 ○処方せんの受付状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・処方せん発行医療機関数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名がある機関数、先発医薬品・後発医薬品を銘柄指定している機関数 ○取り扱い処方せん枚数の内訳等 <ul style="list-style-type: none"> ・取り扱い処方せん枚数、1 品目でも後発医薬品を調剤した処方せん枚数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がない処方せん枚数等(1 か月／1 週間) 等 ・後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん枚数等(1 か月・1 週間) ○後発医薬品への対応状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品の説明を行った患者の割合、後発医薬品と一般的服薬指導の合計説明時間等 ・医薬品・後発医薬品の備蓄品目数の変化、薬局で取り扱っている後発医薬品の採用理由 ○医療機関との連携状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への情報提供の頻度・タイミング ○後発医薬品使用に関する考え <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品の使用に関する考え ・後発医薬品の使用にあたっての問題点・課題 / 等
	様式 2	<ul style="list-style-type: none"> ・処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した薬剤料等
病院調査		<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・開設者、病院種別、DPC 対応の状況、特定入院料の状況、許可病床数、医師数、薬剤師数、医薬品備蓄品目数、後発医薬品の備蓄品目数 ・1 か月間の外来患者延べ人数、1 か月間の外来診療実日数 ○院外処方せん発行状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・院外処方せんを発行している診療科 ・外来における院外処方せん発行枚数、後発医薬品を含む処方せん枚数

	<ul style="list-style-type: none"> ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・平均在院患者数 ・入院患者に対する後発医薬品の使用状況 ・後発医薬品を使用して生じた問題点 ・1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ○後発医薬品使用についての課題 <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品使用についての課題等 / 等
医師調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、担当診療科、1日当たり外来診察患者数 ○院外処方せん発行時の状況や考え <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由 ・一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由 ・後発医薬品に関心のある患者の割合、1年前との比較 ・後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数割合 ・保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供方法 ○後発医薬品使用についての考え <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品についての知識 ・処方せん様式の変更によって良くなった点、問題点 ・後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応 ・後発医薬品の使用上の課題 / 等
診療所調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、担当診療科、1日当たり外来診察患者数 ○施設属性等 <ul style="list-style-type: none"> ・所在地、開設者、種別、主たる診療科、医師数、薬剤師数、医薬品の備蓄状況等 ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・平均在院患者数 ・入院患者に対する後発医薬品の使用状況 ・後発医薬品を使用して生じた問題点 ・1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化 ○院外処方せん発行状況等 <ul style="list-style-type: none"> ・院外処方せんの発行の有無 ・院外処方せん発行枚数、後発医薬品を含む処方せんの枚数 ○院外処方せん発行時の状況や考え <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由 ・1年前と比較した後発医薬品の処方状況 ・後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由 ・一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処方せんの発行経験の有無、割合、その理由 ・後発医薬品に関心のある患者の割合、1年前との比較 ・後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数割合

	<ul style="list-style-type: none"> ・保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい情報提供方法 ○後発医薬品使用についての考え ・後発医薬品についての知識 ・処方せん様式の変更によって良くなった点、問題点 ・後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応 ・後発医薬品の使用上の課題 / 等
患者調査	<ul style="list-style-type: none"> ○属性等 ・性別、年齢、受診している診療科、薬局への来局頻度、かかりつけ薬局の有無、お薬手帳使用の有無 ○後発医薬品の使用に対する意識等 ・後発医薬品の認知度 ・医師や薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無 ・後発医薬品使用経験の有無、ある場合はその満足度、薬代の負担感 ・後発医薬品の使用に対する考え ・後発医薬品を使用する上での意見 / 等

5. 結果概要

(1) 回収の状況

図表 1 回収の状況

調査区分	有効回収数	有効回収率
①保険薬局調査		
保険薬局数(様式1)	944	47.2%
様式2に記載された処方せん枚数(435 薬局分)	7,076	—
②診療所調査		
一般診療所数	733	36.7%
③病院調査		
病院数	326	32.6%
④医師調査		
医師数	431	—
⑤患者調査		
患者数	1,717	—

(2) 保険薬局調査の概要

【調査対象等】

○調査票 様式1

調査対象：全国の保険薬局の中から無作為に抽出した保険薬局

回答数：944 施設

回答者：管理者

○調査票 様式2

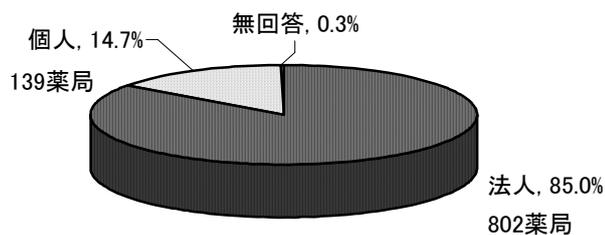
処方せん枚数：7,076 枚（435 薬局分）

回答者：管理者

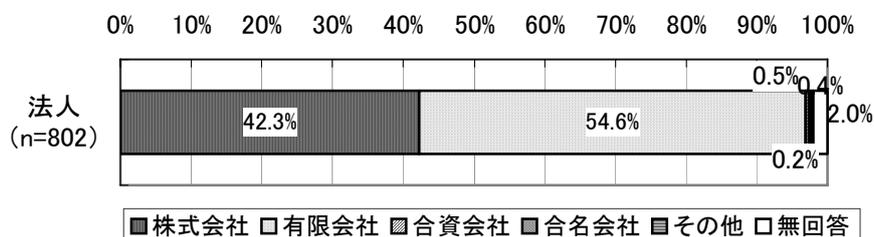
①薬局の属性

1) 組織形態

図表 2 組織形態（法人・個人別）（n=944）

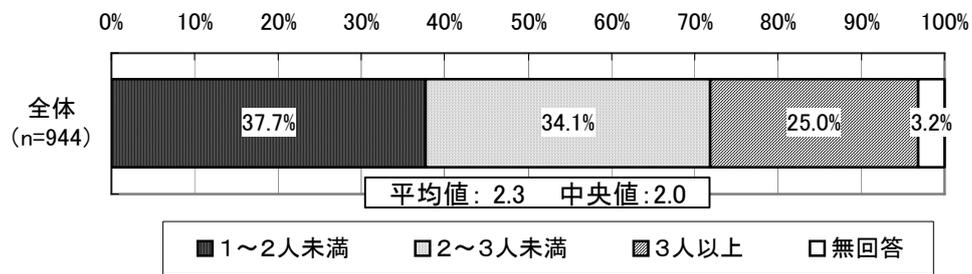


図表 3 法人薬局の内訳（n=802）

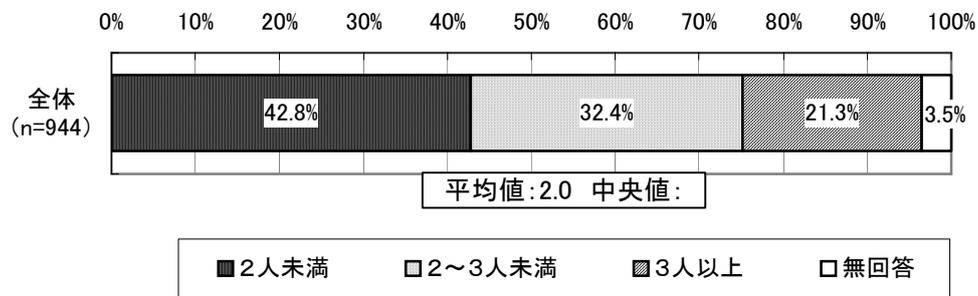


2) 職員数

図表 4 薬剤師の職員数(常勤換算)

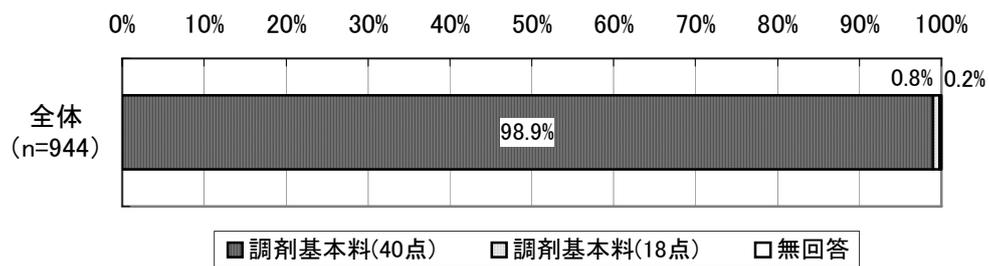


図表 5 その他(事務職員等)の職員数(常勤換算)

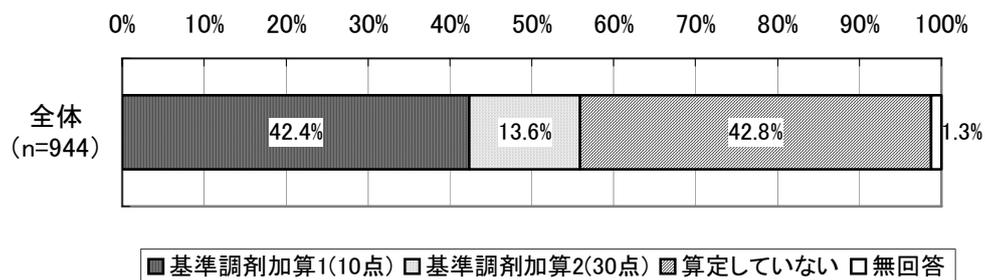


3) 調剤の状況等

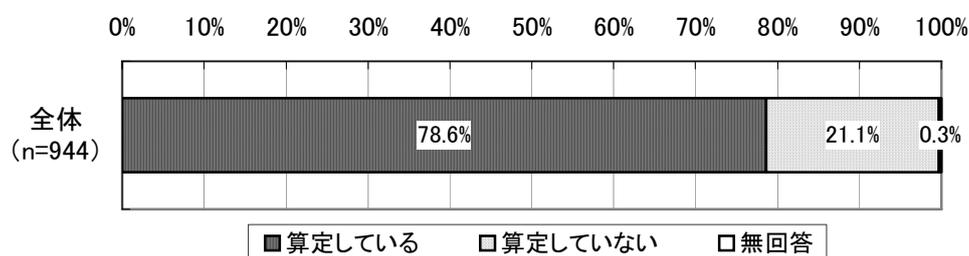
図表 6 調剤基本料



図表 7 基準調剤加算



図表 8 後発医薬品調剤体制加算の有無



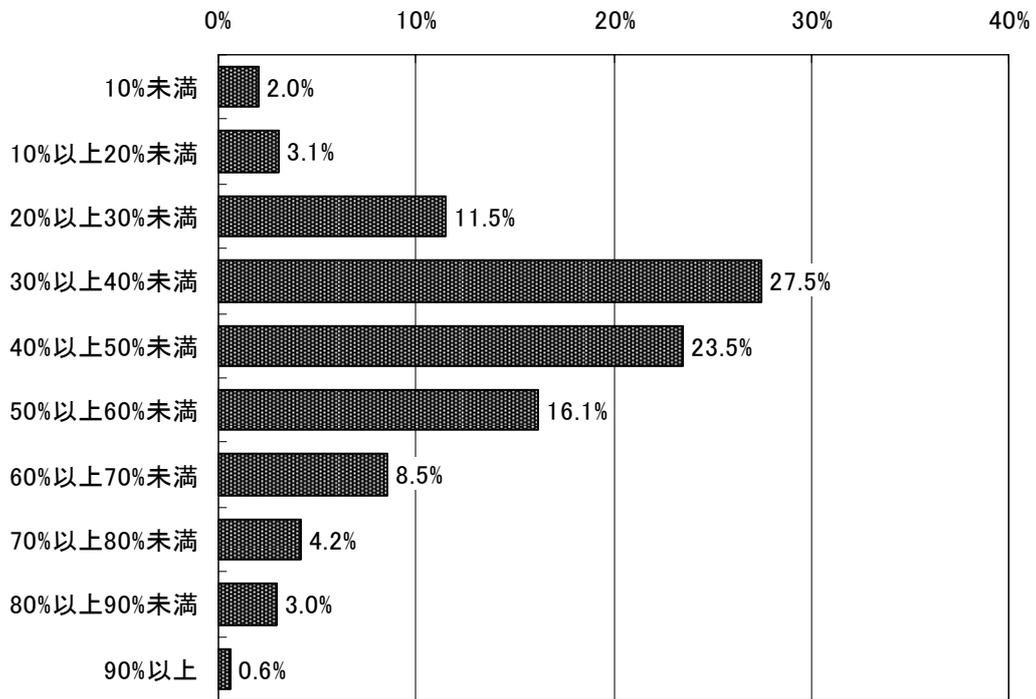
図表 9 後発医薬品調剤率（処方せんベース）（平成 20 年）

（単位：％）

	平均値	標準偏差	中央値
1 月	40.2	17.8	38.0
2 月	40.7	17.7	38.0
3 月	40.4	17.4	38.0
4 月	41.7	16.9	39.3
5 月	42.1	16.7	39.9
6 月	41.7	16.5	39.2
7 月	41.8	16.5	38.9
8 月	41.7	16.5	38.8
9 月	42.2	16.8	39.2
10 月	43.1	16.9	41.0
11 月	43.5	17.0	41.3
12 月	43.9	16.9	41.7

（注）各月全てに回答があった 843 施設を対象とした。

図表 10 後発医薬品調剤率にみた薬局数の分布（処方せんベース）（平成 20 年 12 月）



4) 処方せん発行医療機関

図表 11 処方せん発行医療機関数

	医療機関種別									合計
	病院	診療所							歯科診療所	
		内科	小児科	外科	眼科	耳鼻咽喉科	精神科	その他		
処方せん発行医療機関数(A)	9.6	8.8	0.8	1.5	1.7	1.3	1.2	3.0	1.4	29.2
(うち)「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある機関数(施設)(B)	2.3	2.1	0.2	0.4	0.5	0.3	0.3	0.8	0.1	7.0
(うち)主として先発医薬品を銘柄指定している気関数(施設)	2.1	1.9	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.7	0.1	6.1
(うち)主として後発医薬品を銘柄指定している機関数(施設)	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.9
処方せん枚数(枚)	389.3	457.2	130.0	102.3	65.3	98.8	36.2	129.8	10.5	1,419.4
「変更不可」欄に処方医の署名等が9割以上ある医療機関数の割合(B/A)(%)	23.8	23.5	29.9	24.5	28.4	23.6	25.6	27.5	10.7	24.0
薬局数	588									

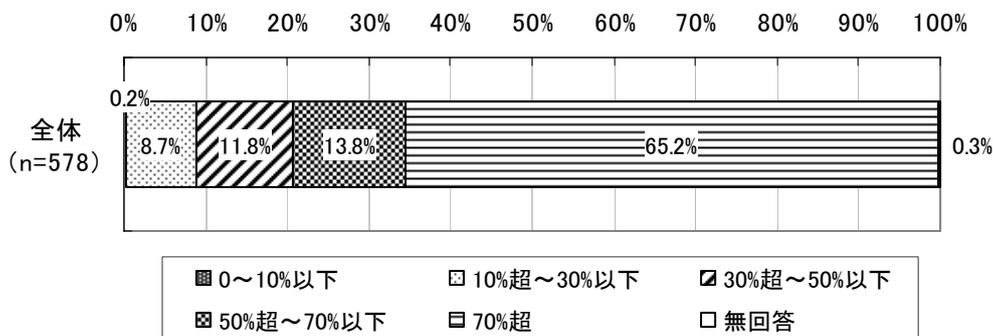
(注) すべての項目に回答のあった施設を対象に集計した。

図表 12 処方せん枚数が最も多い1医療機関の取り扱い処方せん枚数 (n=578)

	平均値	標準偏差	中央値
処方せん枚数(枚)	1,122.9	919.6	999.0

(注) 処方せん枚数について回答のあった施設を対象に集計した。

図表 13 特定の保険医療機関に係る処方せん割合 (最も多いもの)

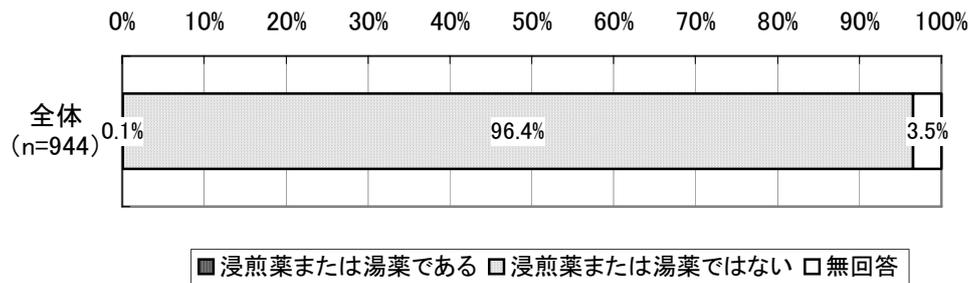


図表 14 半径 200m 以内にある医療機関数 (n=911)

	平均値	標準偏差	中央値
半径 200m 以内にある医療機関数(件)	3.4	3.7	2.0

(注) 回答のあった施設を対象に集計した。

図表 15 算定する調剤料の過半数が浸煎薬または湯薬



②取り扱い処方せん状況等（平成20年12月）

1) 取り扱い処方せん枚数

図表 16 取り扱い処方せん枚数

	1 か月分 (n=371)		1 週間分 (n=392)	
	枚数(枚)	割合	枚数(枚)	割合
① すべての取り扱い処方せん	486,352	100.0%	120,200	100.0%
② ①のうち、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん	213,996	44.0%	51,613	42.9%
③ ①のうち、「後発医薬品への変更がすべて不可」欄に処方医の署名等がない処方せん	318,896	65.6%	77,240	64.3%
④ ③のうち、1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん(以前に一度変更し、今回も同様に変更した場合も含む)	19,497	4.0%	4,509	3.8%
⑤ ④のうち、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん	4,727	1.0%	1,141	0.9%
⑥ ④のうち、後発医薬品分割調剤加算を算定した処方せん	1,226	0.3%	273	0.2%
⑦ ③のうち、1品目でも後発医薬品の銘柄変更調剤をした処方せん	1,624	0.3%	370	0.3%
⑧ ③のうち、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更しなかった処方せん(後発医薬品のみが記載された処方せんを含む)	32,494	6.7%	7,206	6.0%
⑨ ③のうち、「後発医薬品についての説明」を行ったにもかかわらず、患者が希望しなかったために、すべて後発医薬品に変更しなかった処方せん(過去に説明した際に、患者が希望しない意思を明確にしており、今回も後発品への変更をしなかった場合を含む)	28,328	5.8%	6,550	5.4%
③のうち、以下の理由により、後発医薬品に変更できなかった先発医薬品が1品目でもある処方せん				
⑩ 先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品がなかったため	44,366	9.1%	6,795	5.7%
⑪ ⑩のうち、自局で採用している後発医薬品の銘柄については、先発医薬品の含量規格に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	29,406	6.0%	3,892	3.2%
⑫ ⑩のうち、自局では、先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品を採用していなかったため	21,355	4.4%	2,885	2.4%
⑬ 先発医薬品の剤形(ただし、OD錠除く)に対応した後発医薬品がなかったため	8,138	1.7%	1,936	1.6%
⑭ ⑬のうち、自局で採用している後発医薬品の銘柄については、先発医薬品の剤形に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	5,618	1.2%	1,346	1.1%
⑮ ⑬のうち、自局では、先発医薬品の剤形に対応した後発医薬品を採用していなかったため	3,084	0.6%	577	0.5%
⑯ 先発医薬品の剤形がOD錠であり、それに対応した後発医薬品がなかったため	2,169	0.4%	323	0.3%
⑰ ⑯のうち、自局で採用している後発医薬品の銘柄については、OD錠が薬価収載されていなかったため	1,446	0.3%	229	0.2%
⑱ ⑯のうち、自局では、OD錠の後発医薬品を採用していなかったため	1,206	0.2%	89	0.1%
⑲ ①のうち、「後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更がすべて不可」欄に処方医の署名等がある処方せん	167,456	34.4%	42,960	35.7%
⑳ ⑲のうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せん	69,629	14.3%	18,152	15.1%
21 ①のうち、処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん	6,585	1.4%	1,017	0.8%
22 21のうち、一部先発医薬品について変更不可としている処方せん	5,793	1.2%	912	0.8%
23 21のうち、一部後発医薬品について変更不可としている処方せん	663	0.1%	28	0.0%

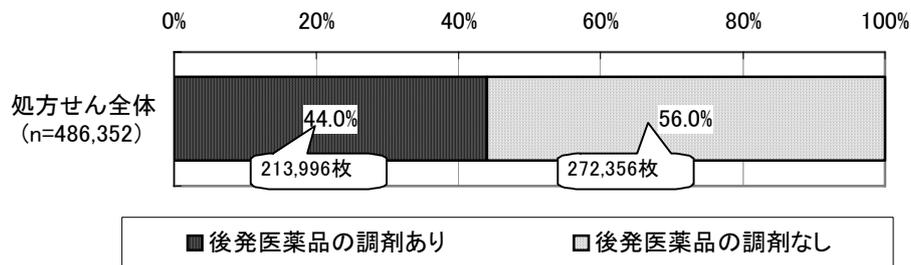
(注) 「1 か月分」は平成20年12月1か月分の取り扱い処方せん、「1 週間分」は「1 か月分」のうち、12/8～12/14の1週間の取り扱い処方せん枚数。

*「後発医薬品についての説明」とは

後発医薬品と先発医薬品とが同等であること（例えば、品質、安定性、生物学的同等性試験結果など）の説明に加え、患者の処方せんにおける変更前の薬剤料と変更後の薬剤料の差額等についての説明などを指す。

2) 1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん割合

図表 17 すべての処方せんにおける、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せんの割合
(平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース)

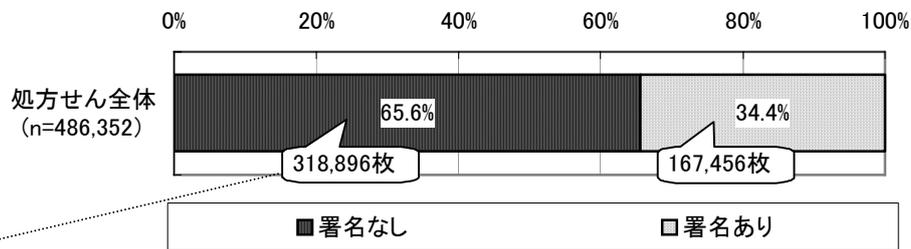


3) 後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

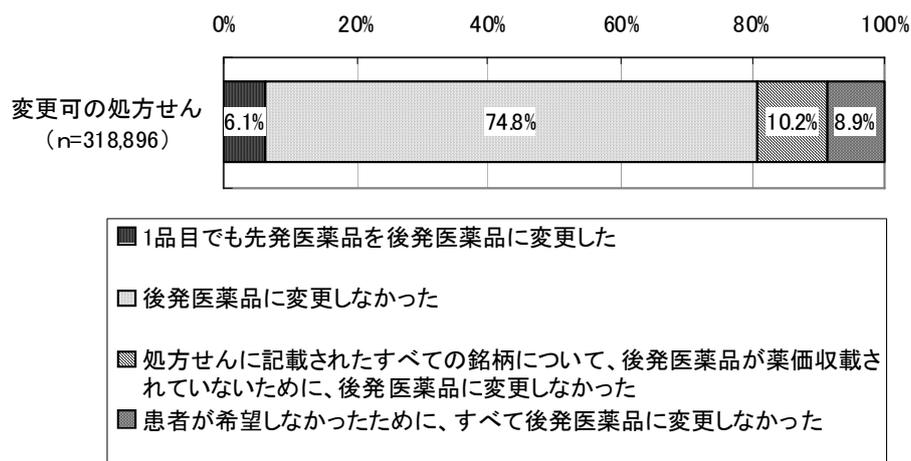
図表 18 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん
 (n=318, 896) における、後発医薬品への変更状況等
 (平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース)

	枚数	割合
「変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん	318,896	100.0%
1 品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した処方せん	19,497	6.1%
(うち)後発医薬品情報提供料を算定した処方せん	4,727	1.5%
(うち)後発医薬品分割調剤加算を算定した処方せん	1,226	0.4%
1 品目でも後発医薬品を他の後発医薬品に変更した処方せん	1,624	0.5%
処方せんに記載されたすべての銘柄について、後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更しなかった処方せん	32,494	10.2%
患者が希望しなかったために、すべて後発医薬品に変更しなかった処方せん	28,328	8.9%
以下の理由により、後発医薬品に変更できなかった先発医薬品が 1 品目でもある処方せん		
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品がなかったため	44,366	13.9%
採用している後発医薬品に、先発医薬品の含量規格に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	29,406	9.2%
先発医薬品の含量規格に対応した後発医薬品を採用していなかったため	21,355	6.7%
先発医薬品の剤形(ただし、OD錠除く)に対応した後発医薬品がなかったため	8,138	2.6%
採用している後発医薬品に、先発医薬品の剤形に対応した製剤が薬価収載されていなかったため	5,618	1.8%
先発医薬品の剤形に対応した後発医薬品を採用していなかったため	3,084	1.0%
先発医薬品の剤形がOD錠であり、それに対応した後発医薬品がなかったため	2,169	0.7%
採用している後発医薬品に、OD錠が薬価収載されていなかったため	1,446	0.5%
OD錠の後発医薬品を採用していなかったため	1,206	0.4%

図表 19 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の
処方医の署名の有無（平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース）

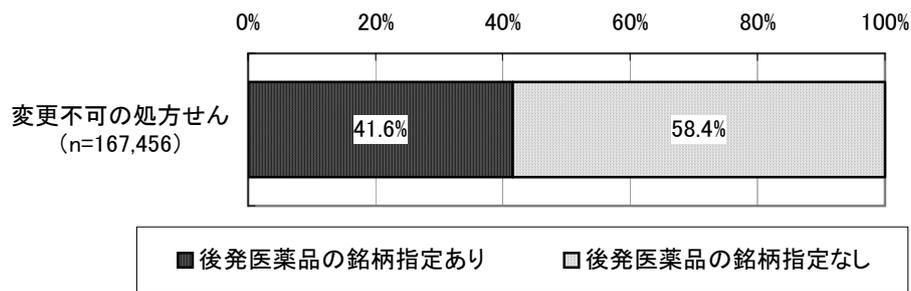


図表 20 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん
(n=318,896) における、後発医薬品への変更状況
(平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース)



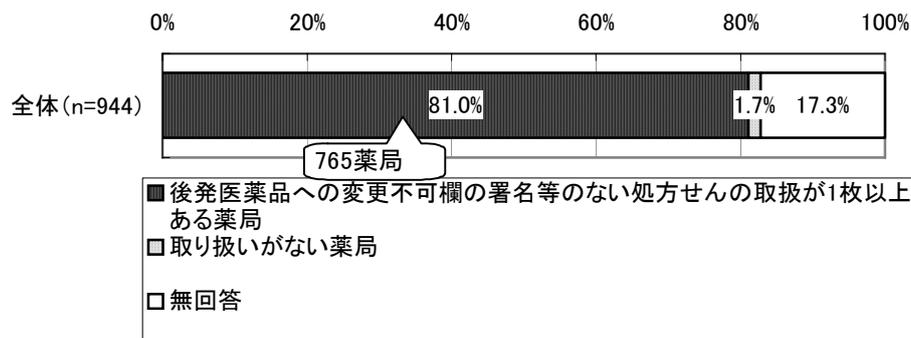
4) 「変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せんのうち、後発医薬品を銘柄指定している処方せんの割合

図表 21 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がある処方せん (n=167,456) における、後発医薬品の銘柄指定している処方せんの割合 (平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース)

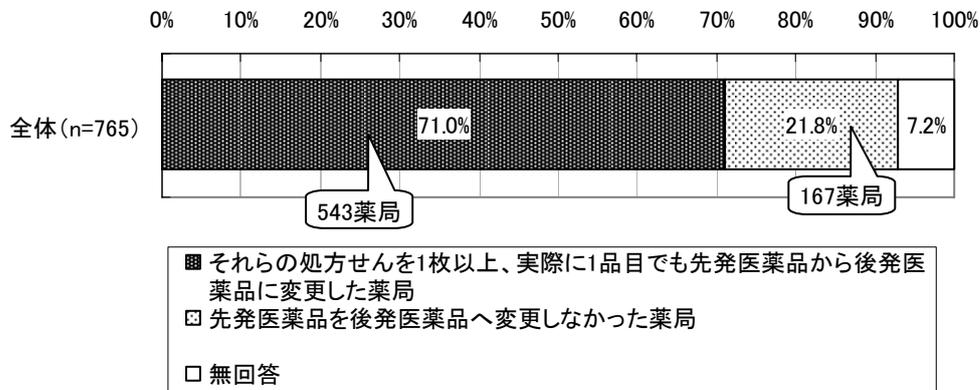


5) 後発医薬品への変更割合 (薬局ベース)

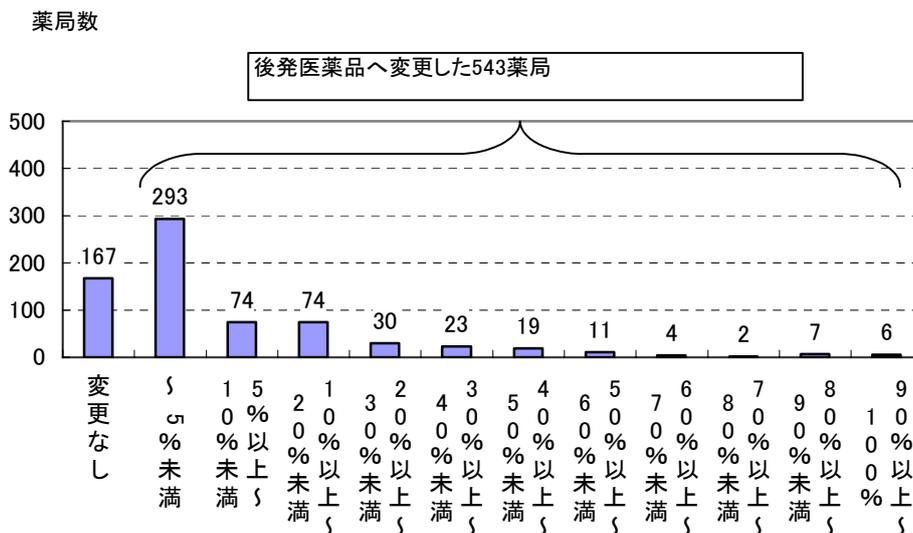
図表 22 1 か月間の取り扱い処方せんのうち、「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局数の割合 (薬局ベース)



図表 23 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局（765 薬局）のうち、実際に1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した薬局数の割合（薬局ベース）

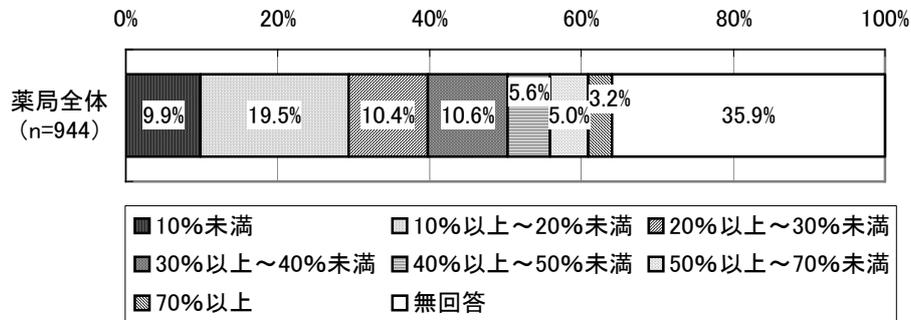


図表 24 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せんを取り扱った薬局（765 薬局）における、後発医薬品への変更可能な処方せんに占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布（薬局ベース）



6) 1 か月間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品の割合

図表 25 1 か月間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品（数量ベース）の割合
（平成 20 年 12 月 1 か月間、薬局ベース）



図表 26 1 か月間に調剤したすべての医薬品に占める後発医薬品（数量ベース）の割合
平均値（薬局ベース）（平成 20 年 12 月 1 か月間）（n=605）

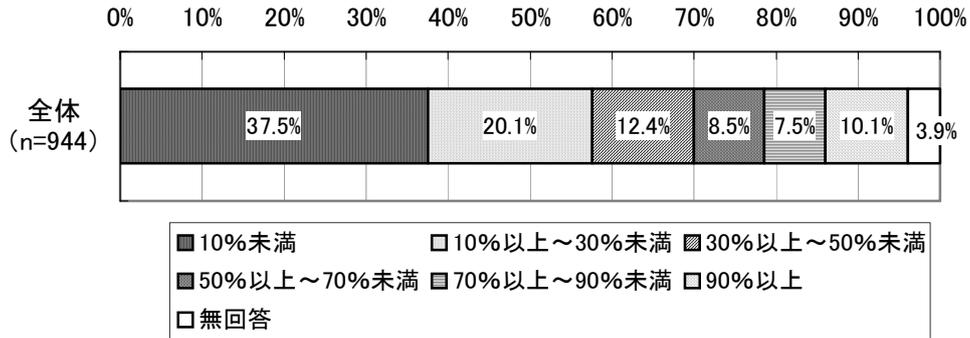
	平均値	標準偏差	中央値
すべての医薬品に占める後発 医薬品の割合 (%)	27.0	19.2	22.0

（注）回答のあった施設を対象に集計した。

③後発医薬品への対応状況（平成20年4月以降）

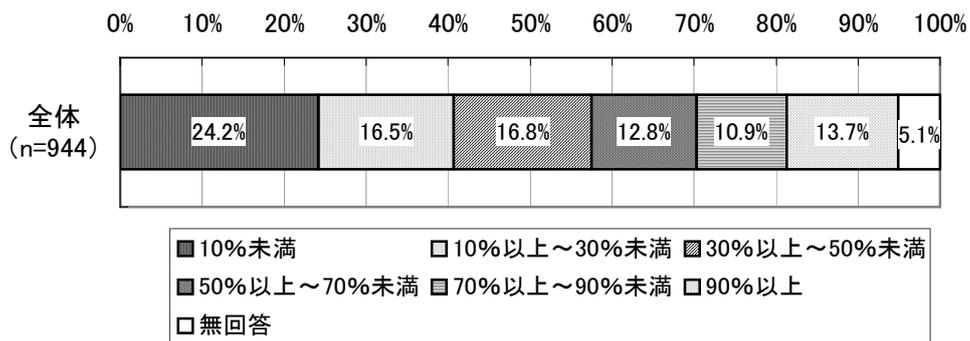
1) 後発医薬品についての説明を行った患者の割合

図表 27 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参した患者のうち、
後発医薬品についての説明を行った患者の割合（薬局ベース）



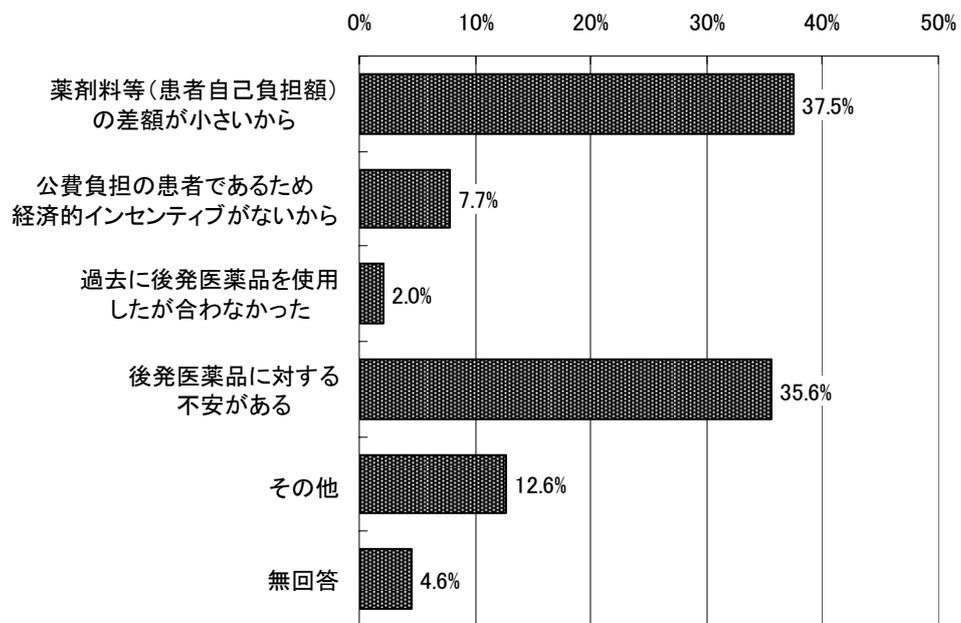
2) 後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

図表 28 後発医薬品への変更可能な処方せんを持参し、
後発医薬品についての説明を行った患者のうち、後発医薬品の使用を
希望しなかった患者の割合（薬局ベース）



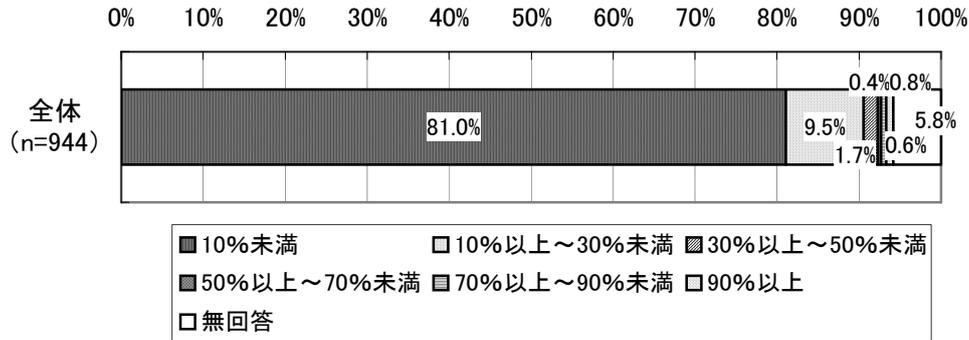
3) 後発医薬品についての説明を行ったにもかかわらず、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由

図表 29 後発医薬品についての説明を行ったにもかかわらず、患者が後発医薬品の使用を希望しなかった理由（薬局ベース、単数回答、n=944）



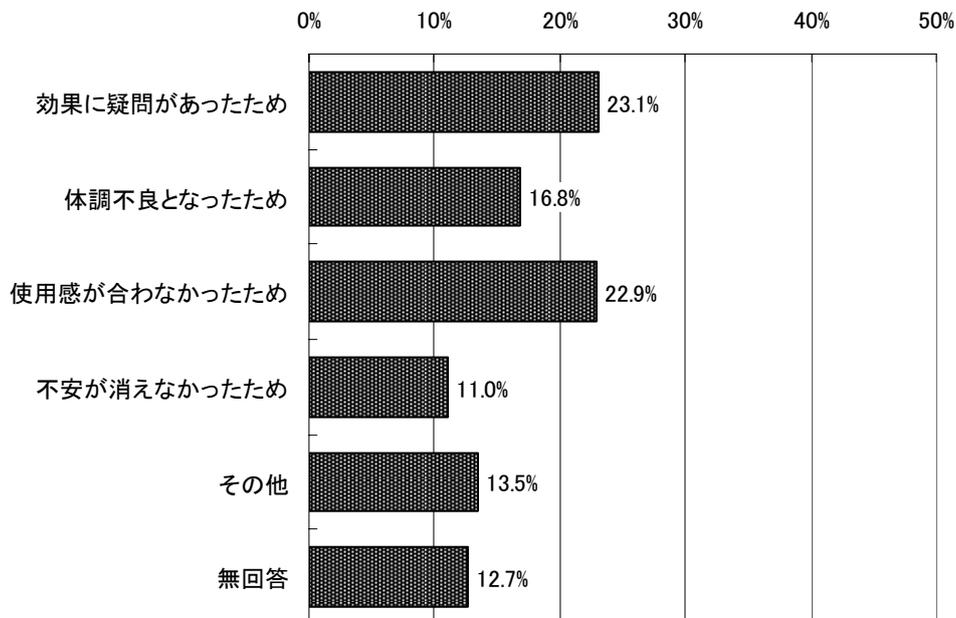
4) 後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合

図表 30 後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった患者の割合（薬局ベース）



5) 後発医薬品への変更調剤を行ったが、患者が2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由

図表 31 2回目以降に後発医薬品の使用を希望しなかった理由（薬局ベース、単数回答、n=944）



6) 患者1人に要する後発医薬品についての平均説明時間

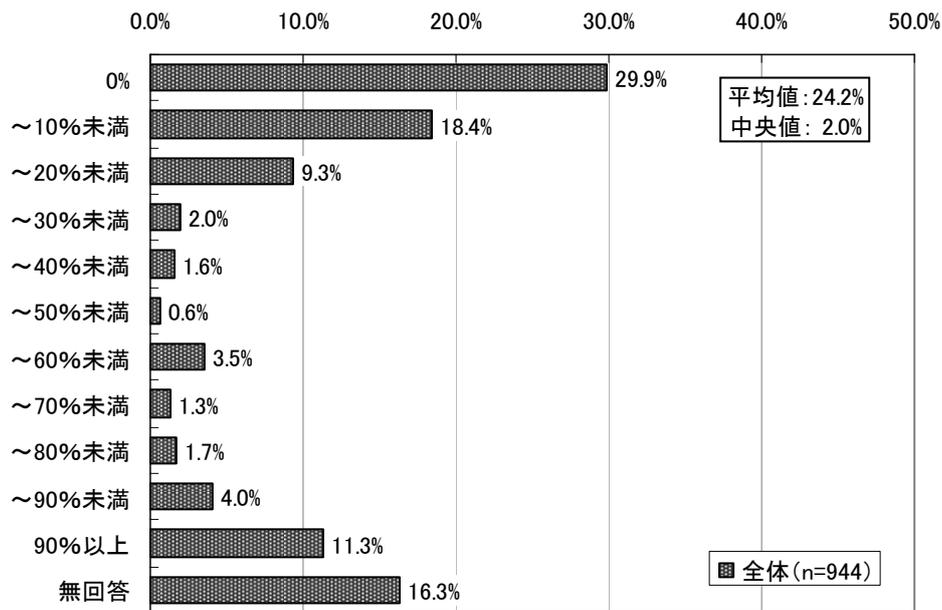
図表 32 患者1人に要する平均説明時間 (n=713)

	平均値	標準偏差	中央値
後発医薬品説明+服薬指導時間(初回)(分)	10.9	6.0	10.0
後発医薬品説明+服薬指導時間(2回目以降)(分)	6.0	3.8	5.0
一般的な服薬指導時間(分)	5.8	3.2	5.0

(注) すべての項目について回答があるものを対象とした

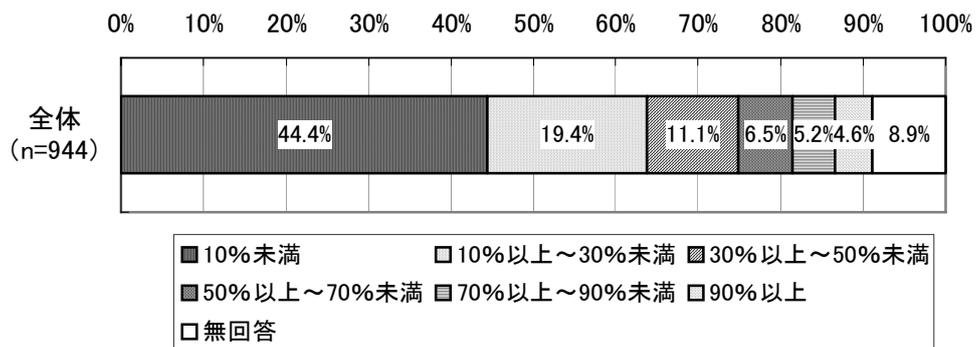
7) 平成20年12月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方に切り替えた患者数の割合(薬局ベース)

図表 33 平成20年12月以前に後発医薬品への変更調剤を行った患者のうち、医療機関が、薬局で変更した当該後発医薬品の銘柄処方に切り替えた患者数の割合(薬局ベース)



8) 在庫がなくて後発医薬品に変更できなかった患者の割合

図表 34 後発医薬品が変更可能な処方せんを持参した患者のうち、当該後発医薬品の在庫がなくて後発医薬品に変更できなかった患者の割合（薬局ベース）



④備蓄医薬品の状況

1) 医薬品の備蓄品目数

図表 35 備蓄医薬品品目数の変化 (n=600)

		平成 19 年 12 月	平成 20 年 12 月	増加率
医薬品全品目数(A)	平均値	758.5	818.5	7.9%
	標準偏差	385.7	397.7	
	中央値	715.5	776.0	8.5%
うち、後発医薬品の品目数(B)	平均値	97.3	125.5	29.0%
	標準偏差	113.6	99.0	
	中央値	68.5	100.0	46.0%
うち、複数銘柄の後発医薬品を備えている先発医薬品の品目数	平均値		11.0	
	標準偏差		17.1	
	中央値		5.0	
(B) / (A)	平均値	12.8%	15.3%	
	中央値	9.6%	12.9%	

(注) すべての項目について回答があるものを対象とした。

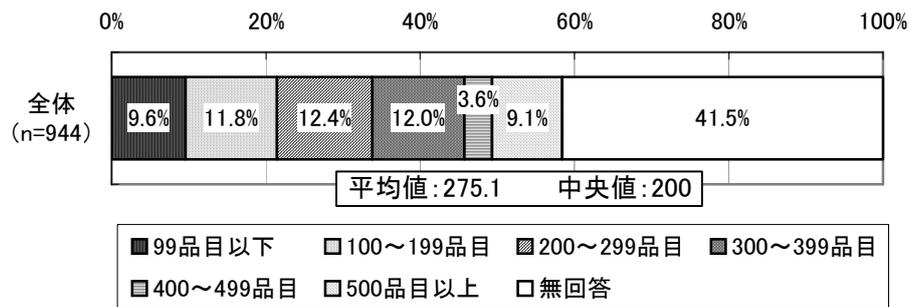
2) 先発医薬品と同じ剤形の後発医薬品が薬価収載されていない先発医薬品の備蓄品目数

図表 36 先発医薬品と同じ剤形の後発医薬品が薬価収載されていない
先発医薬品の備蓄品目数

	平均値	標準偏差	中央値
先発医薬品がOD錠(品目) (n=613)	3.9	6.2	2.0
OD錠以外(品目) (n=488)	87.5	168.8	3.0

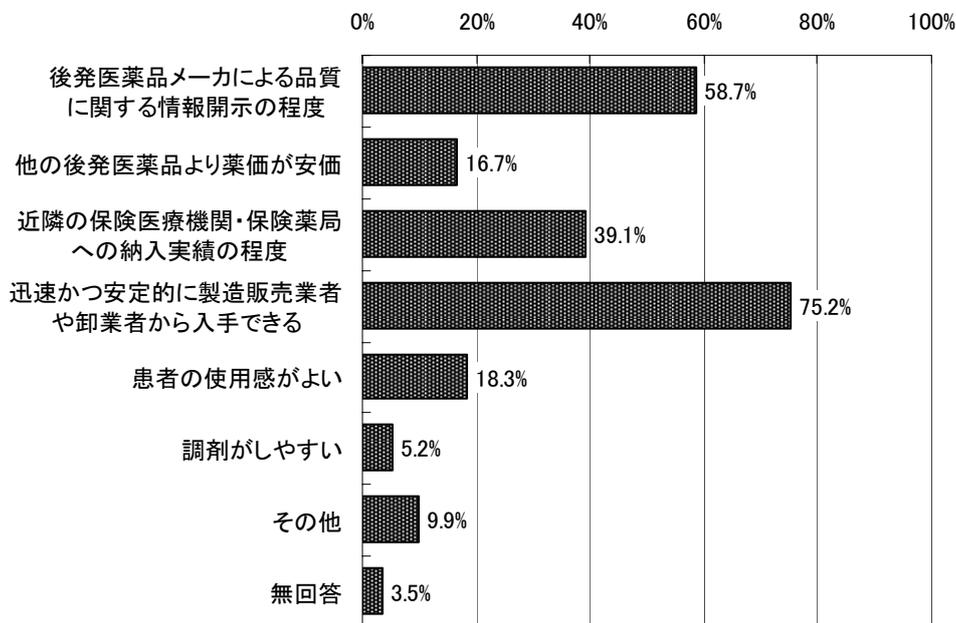
3) 在庫がなくて後発医薬品に変更できないケースがないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数

図表 37 在庫がなくて後発医薬品に変更できないケースがないようにするために必要な後発医薬品の備蓄品目数

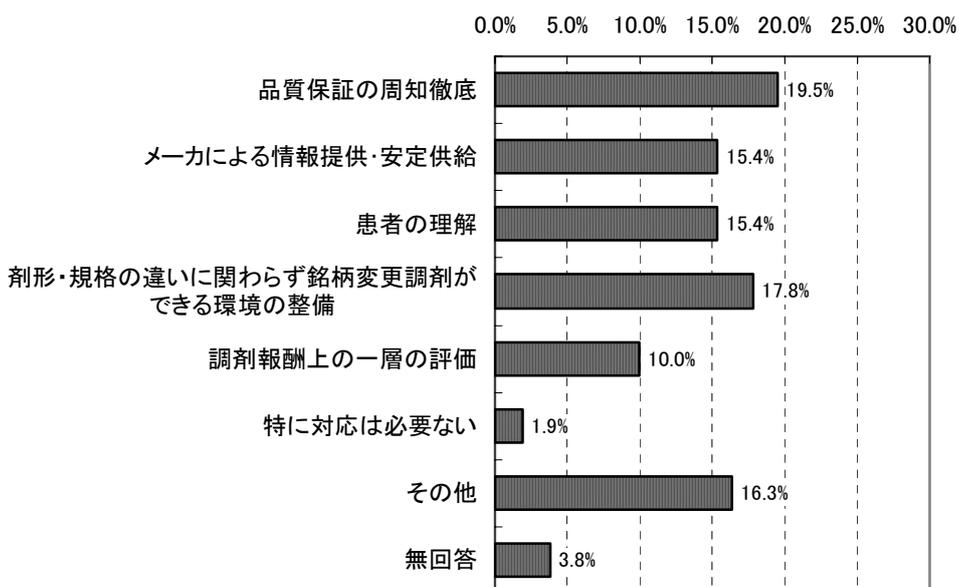


⑤後発医薬品への変更を進めるための要件

図表 38 採用している後発医薬品を選択した理由（複数回答、n=944）

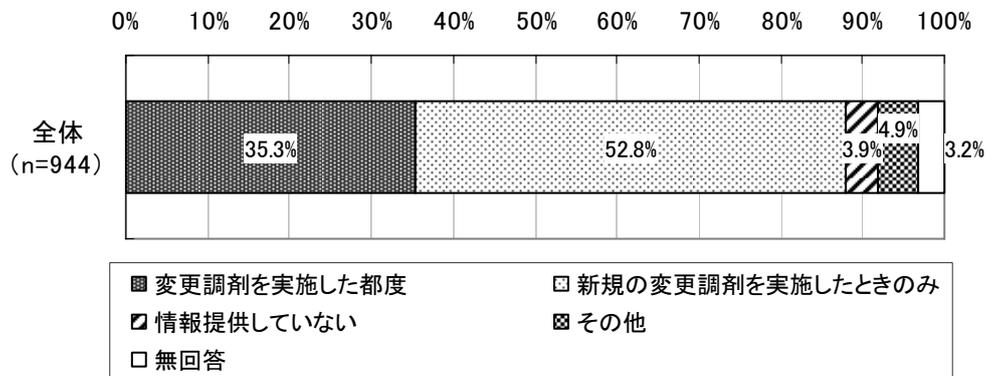


図表 39 処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がなかったが、変更しなかった場合について、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための最大の要件（単数回答、n=944）

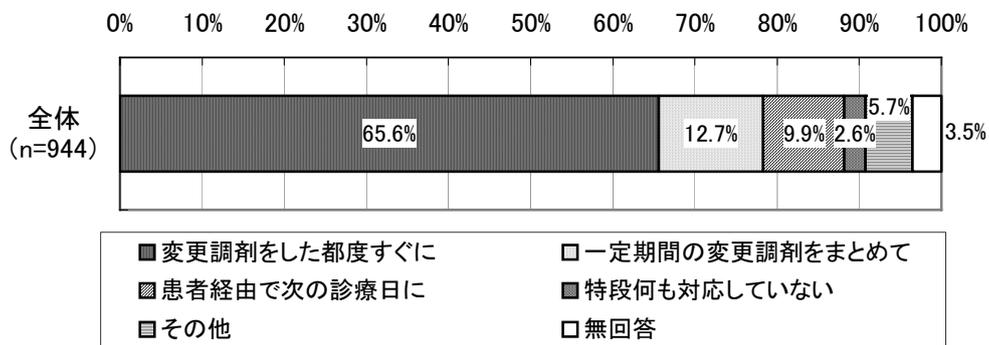


⑥医療機関との連携

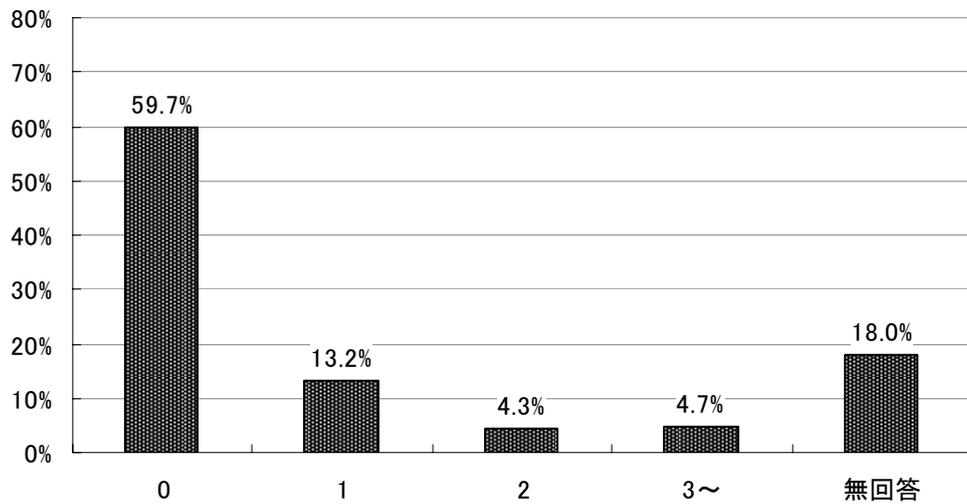
図表 40 後発医薬品への変更調剤に係る医療機関（医師）への情報提供の頻度



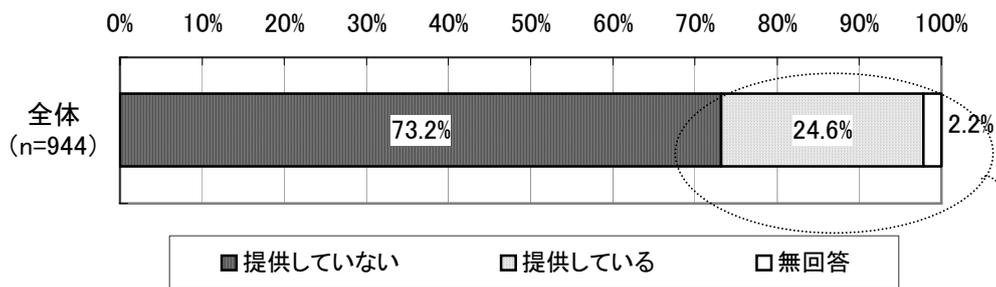
図表 41 後発医薬品への変更調剤に係る医療機関（医師）への情報提供のタイミング



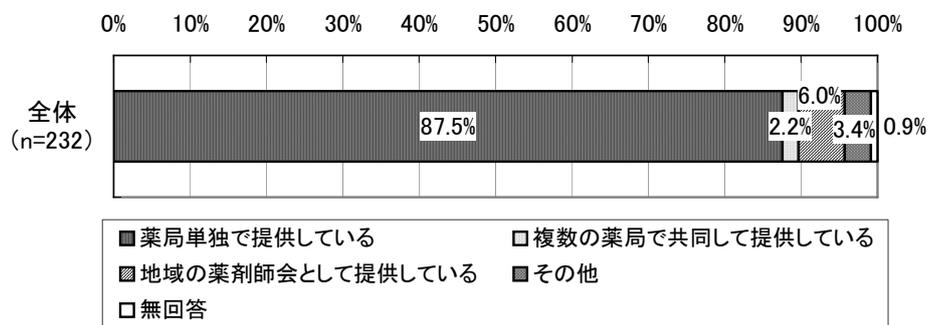
図表 42 後発医薬品への変更調剤について情報提供不要の取り決めを行っている医療機関数 (n=944)



図表 43 後発医薬品のリストの近隣医療機関（医師）への提供状況

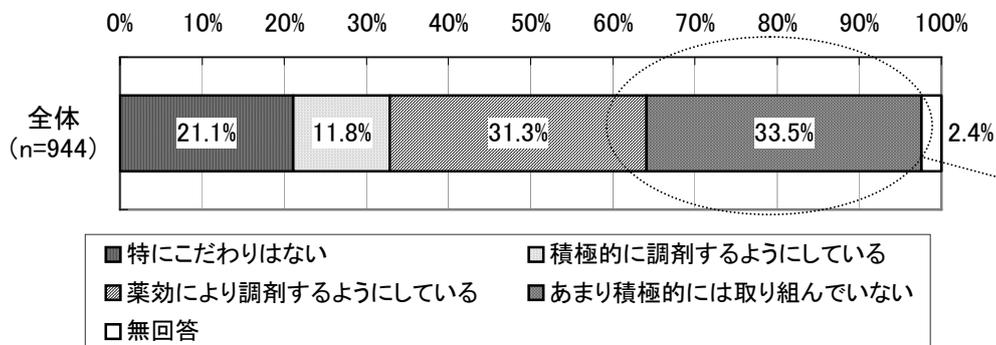


図表 44 後発医薬品のリストの近隣医療機関（医師）への提供方法

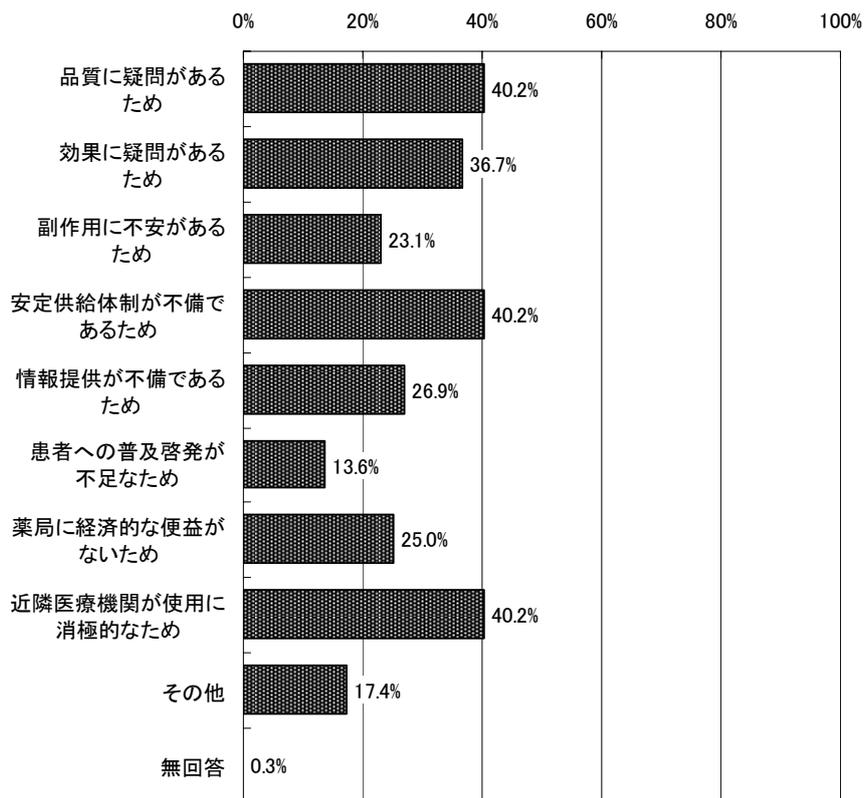


⑦後発医薬品調剤に関する考え方

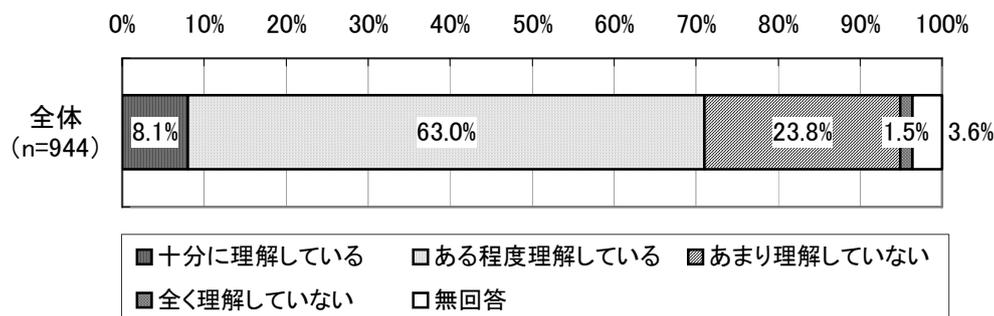
図表 45 後発医薬品調剤に関する考え方



図表 46 後発医薬品の説明・調剤にあまり積極的に取り組まない理由
(複数回答、n=316)



図表 47 後発医薬品の品質保証の方法についての理解状況



⑧後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況（様式2の分析）

図表 48 12/8～14に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（7,076枚）の状況

	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A) (点)	754.5	1071.9	392.0
実際に調剤した場合の薬剤料(B) (点)	582.2	878.3	280.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A) (%)	77.2	81.9	71.4

図表 49 患者一部負担金割合別にみた、12/8～14に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（7,076枚）の状況

	患者一部負担金割合					
	全体	0割	1割	2割	3割	10割
処方せん枚数(枚)	7,076	404	1,944	206	4,506	10
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A) (点)	754.5	740.0	941.7	241.1	700.0	176.1
実際に調剤した場合の薬剤料(B) (点)	582.2	637.6	752.4	191.2	522.8	119.8
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A) (%)	77.2	86.2	79.9	79.3	74.7	68.0

(注) 患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん6枚が含まれる。

(3) 診療所・病院・医師調査の結果概要

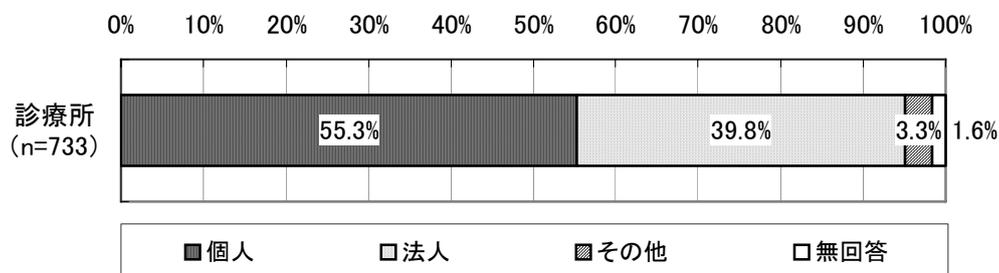
【調査対象等】

○診療所調査
調査対象：全国の一般診療所の中から無作為に抽出した一般診療所
回答数：733 施設
回答者：開設者・管理者
○病院調査
調査対象：全国の病院の中から無作為に抽出した病院
回答数：326 施設
回答者：開設者・管理者
○医師調査
調査対象：上記、「病院調査」の対象施設で外来診療を担当する医師
1 施設につき、診療科の異なる医師 2 名
回答数：431 人

①診療所の施設属性

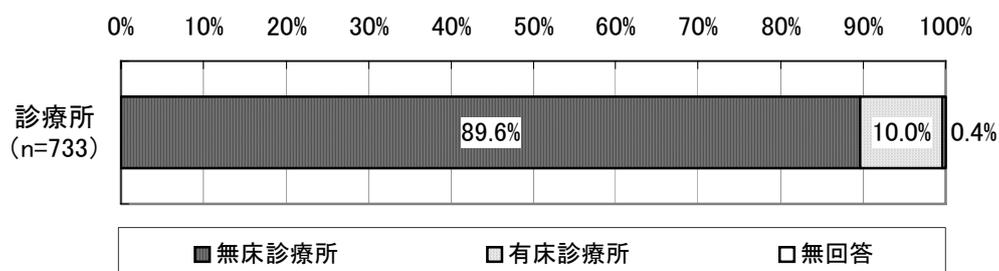
1) 診療所の開設者

図表 50 診療所の開設者



2) 診療所の種別

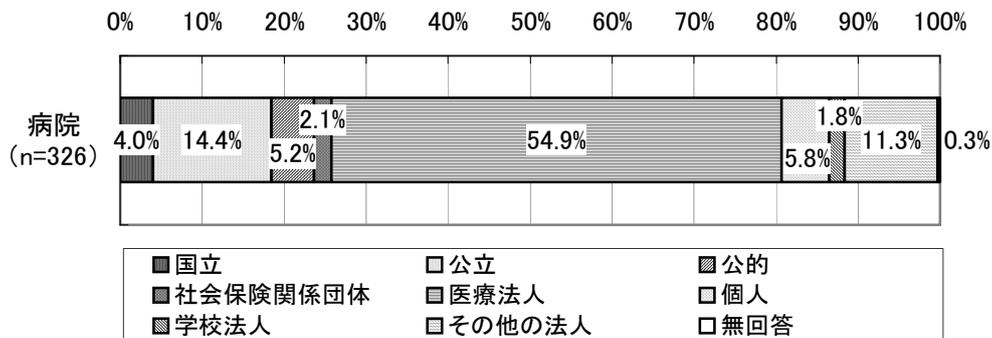
図表 51 診療所の種別



②病院の施設属性

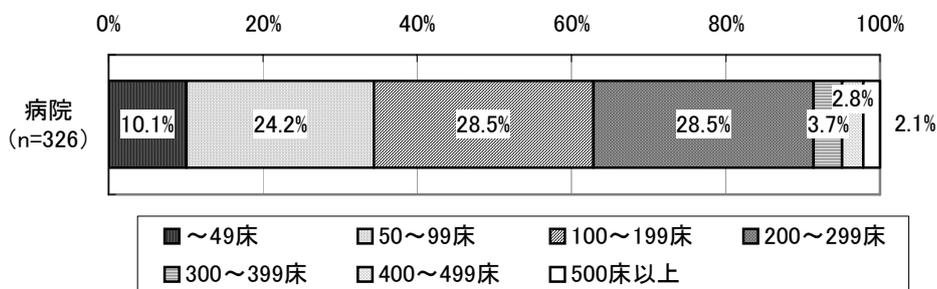
1) 病院の開設者

図表 52 病院の開設者



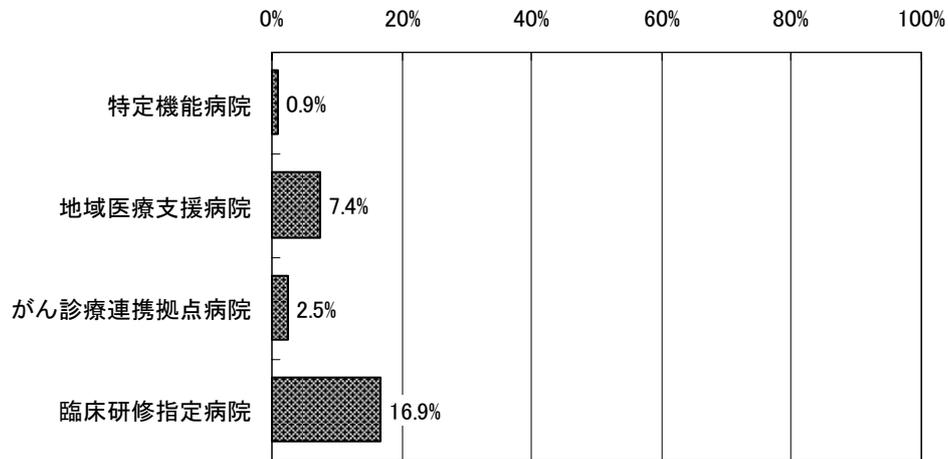
2) 病院の病床規模

図表 53 病床規模



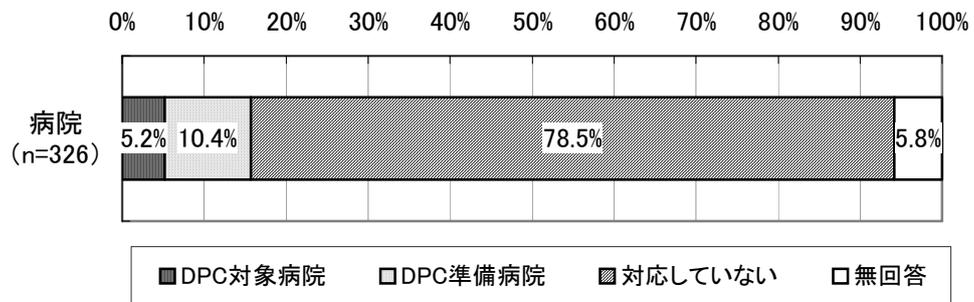
3) 病院の種別

図表 54 病院の種別（複数回答、n=326）



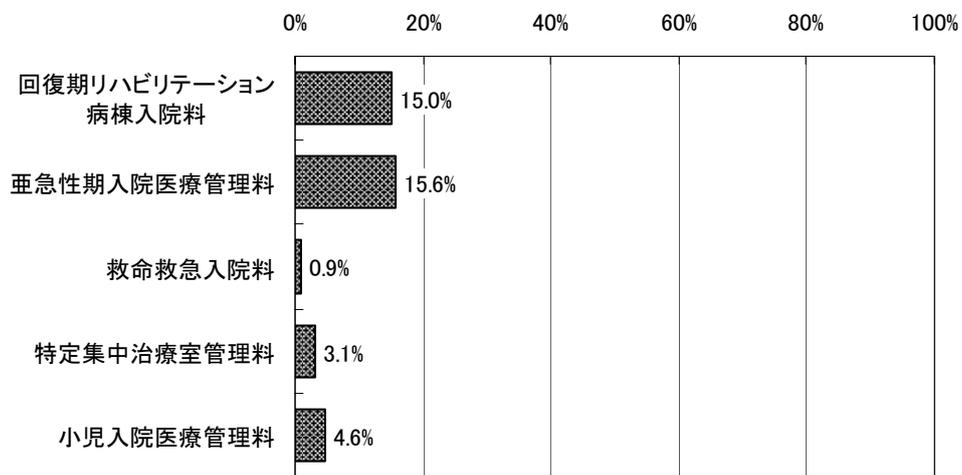
4) D P Cの対応状況

図表 55 D P C対応状況



5) 特定入院料の状況

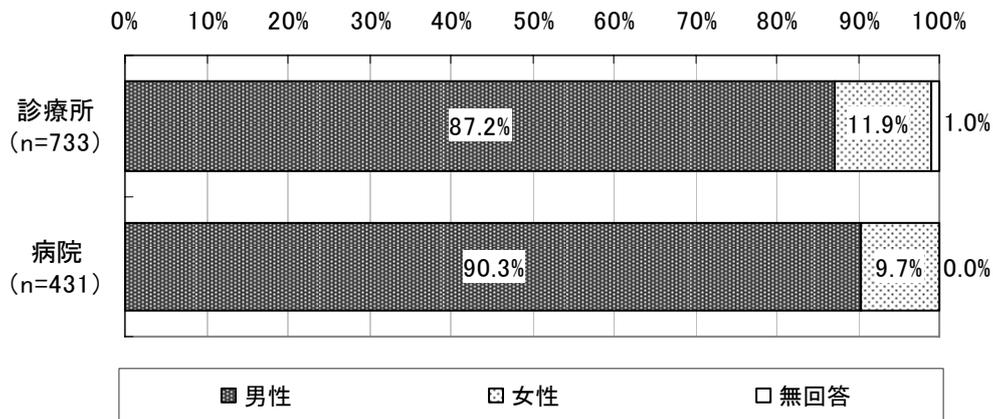
図表 56 特定入院料の状況（複数回答、n=326）



③医師の属性

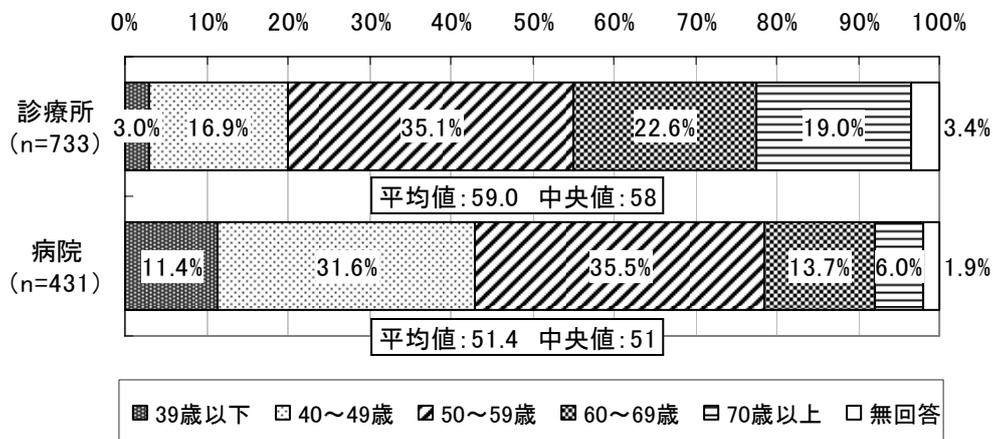
1) 医師の性別

図表 57 医師の性別



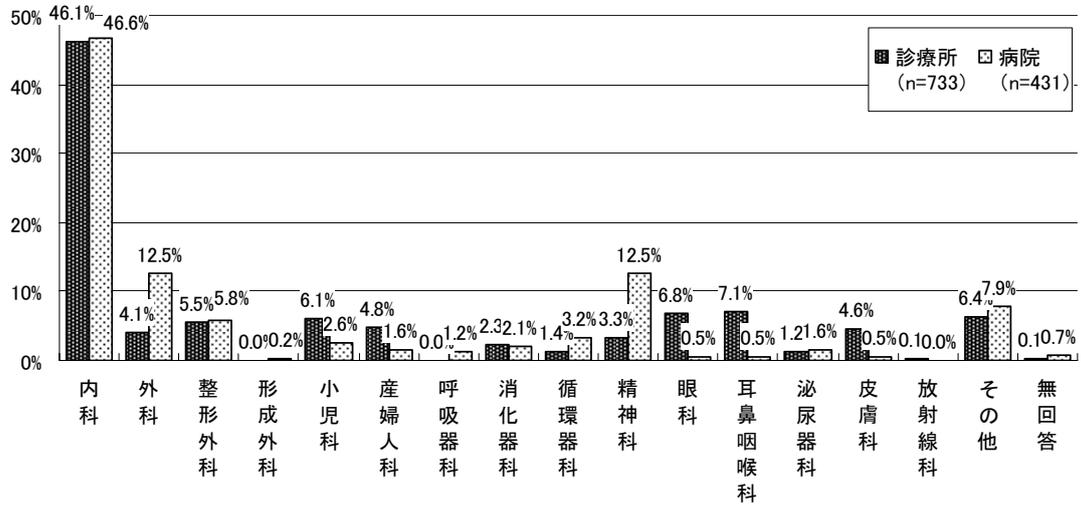
2) 医師の年齢

図表 58 医師の年齢



3) 医師の主たる担当診療科

図表 59 医師の主たる担当診療科



④診療所・病院の診療体制

図表 60 常勤の医師数・薬剤師数

(単位：人)

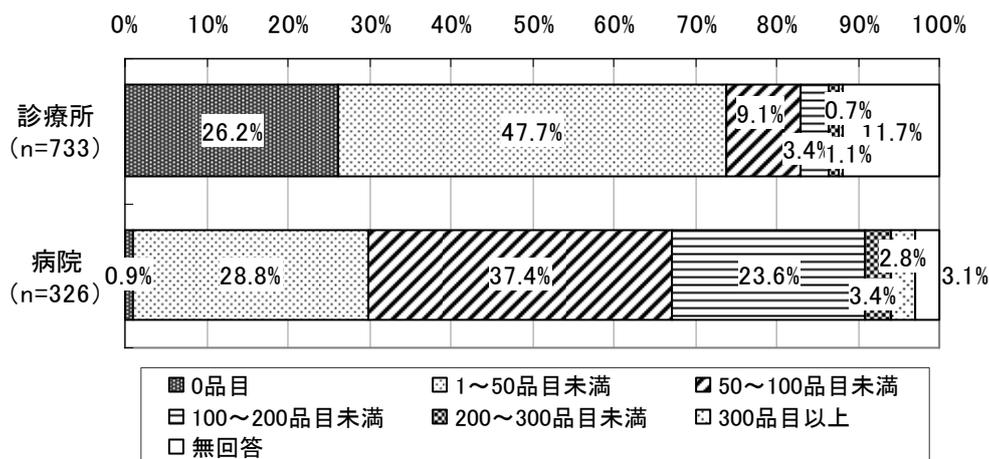
		平均値	標準偏差	中央値
診療所 (n=708)	医師数	1.2	0.7	1.0
	薬剤師数	0.1	0.4	0.0
病院 (n=318)	医師数	16.3	36.9	8.1
	薬剤師数	4.4	5.7	3.0

⑤診療所・病院における医薬品の備蓄状況

図表 61 医薬品の備蓄状況

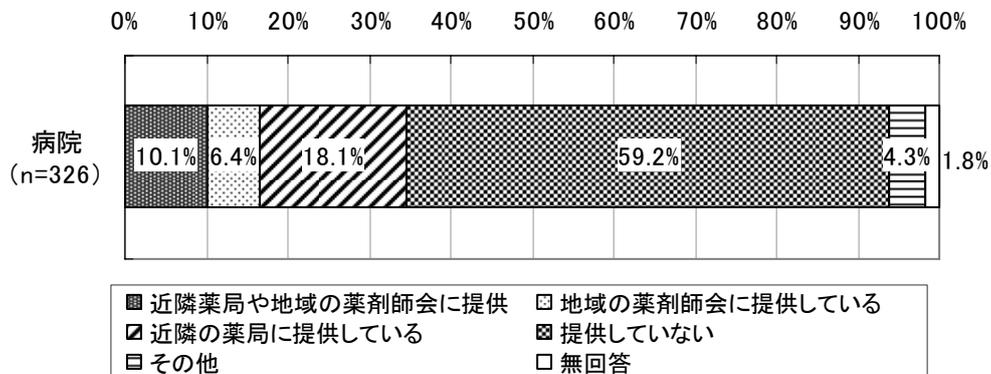
	診療所 (n=733)			病院 (n=326)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①医薬品備蓄品目数 (品目)	123.4	136.5	74.5	711.9	384.3	618.0
②うち、後発医薬品の 備蓄品目数(品目)	25.3	52.5	7.0	86.0	73.2	70.0
③ ②/①	20.5%		9.4%	12.1%		11.3%

図表 62 後発医薬品の備蓄状況



⑥病院で使用している後発医薬品リストの提供状況

図表 63 病院で使用している後発医薬品リストの提供



⑦入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

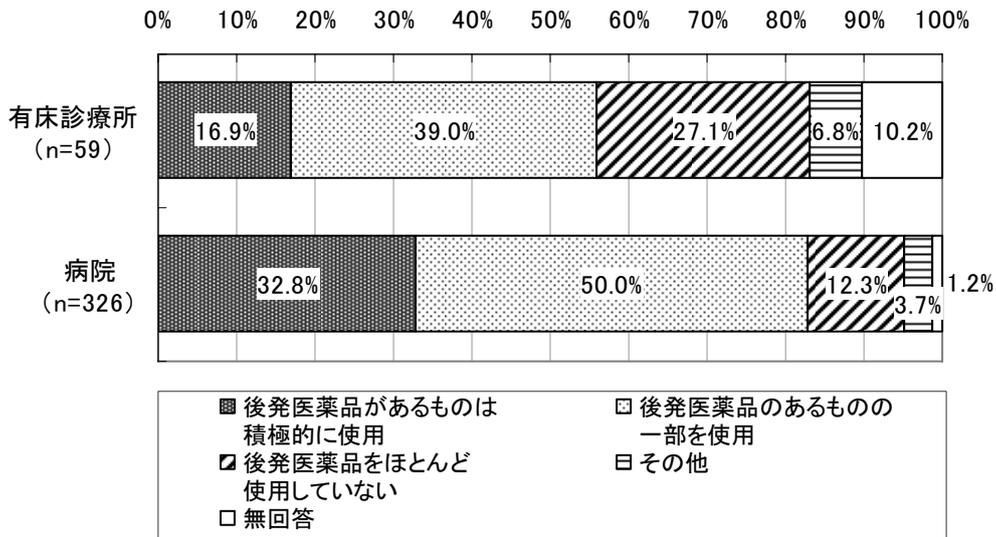
1) 1か月間の平均在院患者数

図表 64 平均在院患者数（平成 20 年 12 月 1 か月間）

	診療所 (n=66)			病院 (n=296)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の平均在院患者数(人)	5.0	6.1	1.5	137.5	122.1	109.8

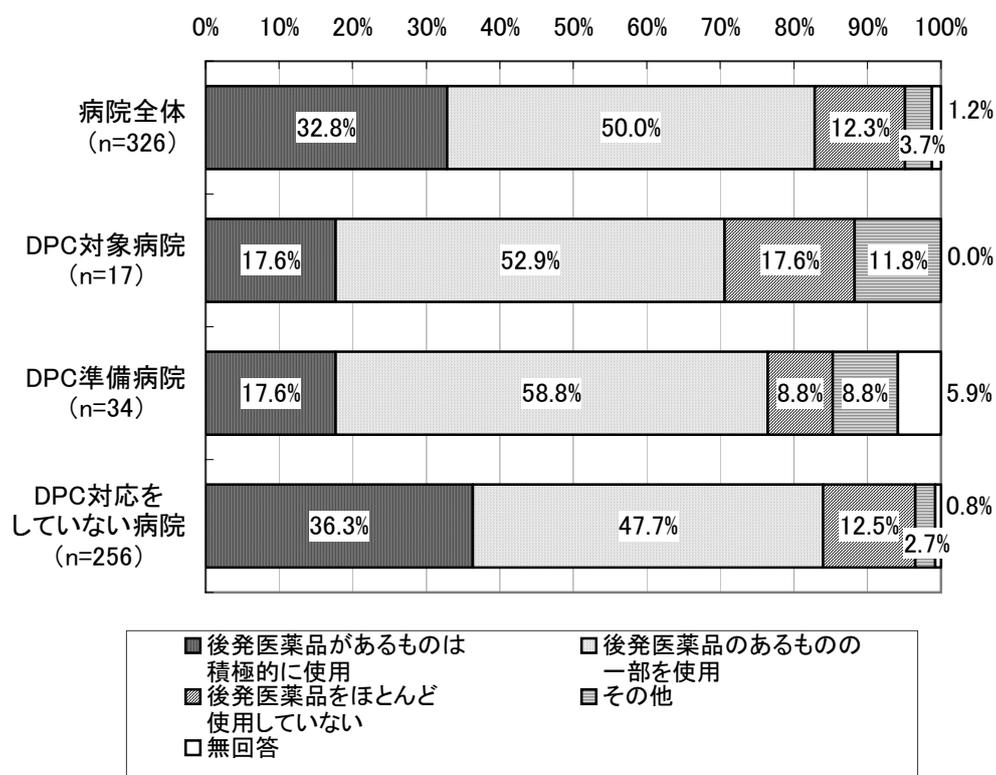
2) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

図表 65 入院患者に対する後発医薬品の使用状況



(注) 有床診療所については、平成 20 年 12 月 1 か月間の平均在院患者数が「0」であった施設を除いて集計した。

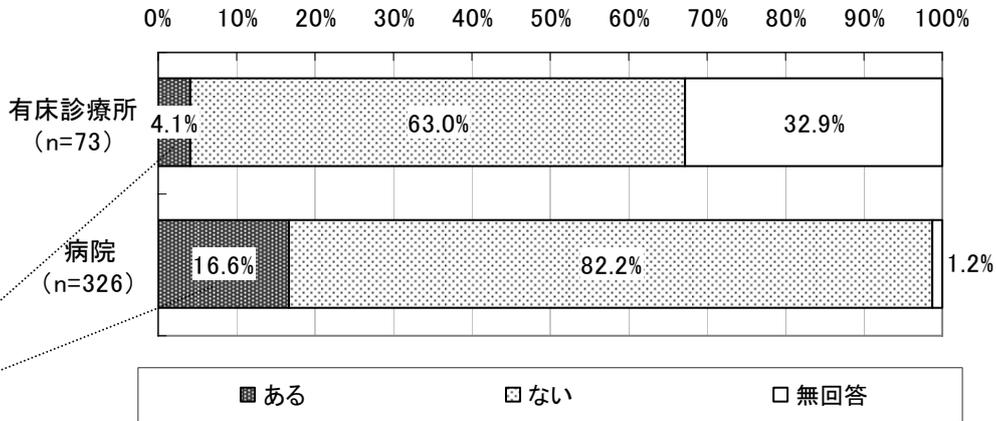
図表 66 病院における入院患者に対する後発医薬品の使用状況（DPC対応状況別）



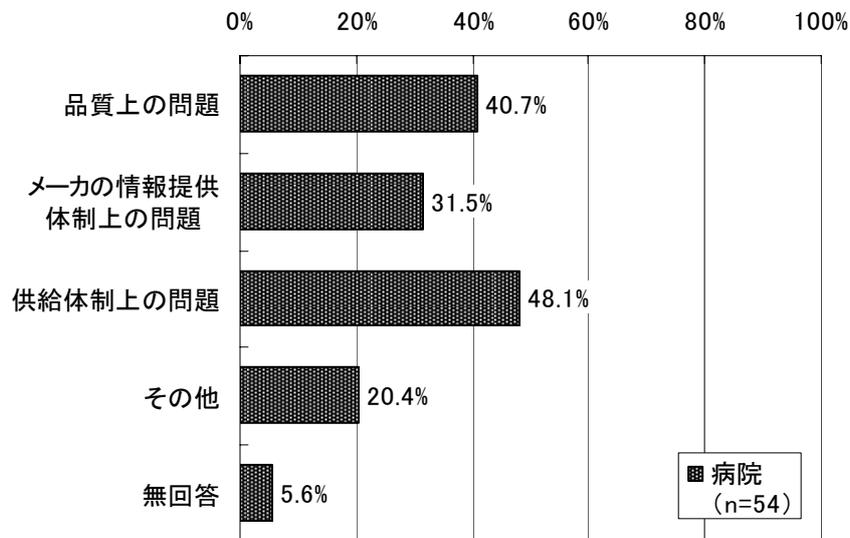
(注)「病院全体」には、「DPC 対応状況」について無回答であった 19 施設が含まれる。

3) 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無

図表 67 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無



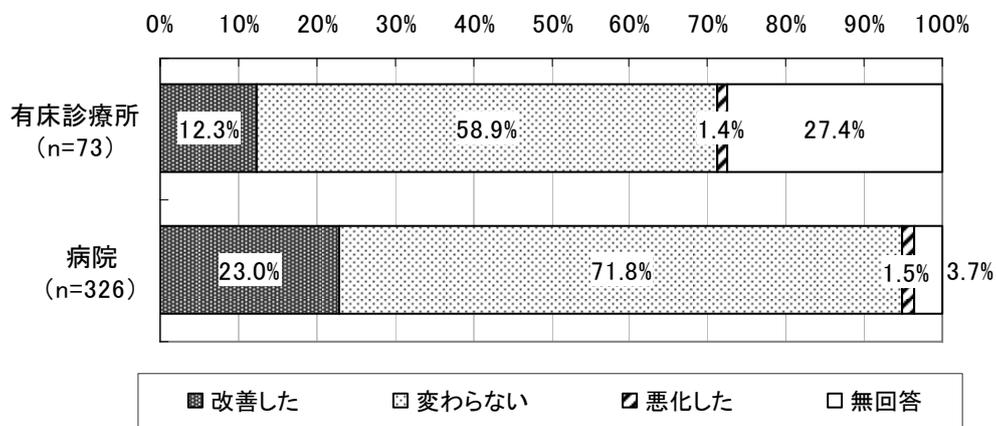
図表 68 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した施設における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答）



(注) 有床診療所3件の回答内訳は、「品質上の問題」が1件、「供給体制上の問題」が2件であった。

4) 1年前と比較した入院患者に対する後発医薬品の供給体制

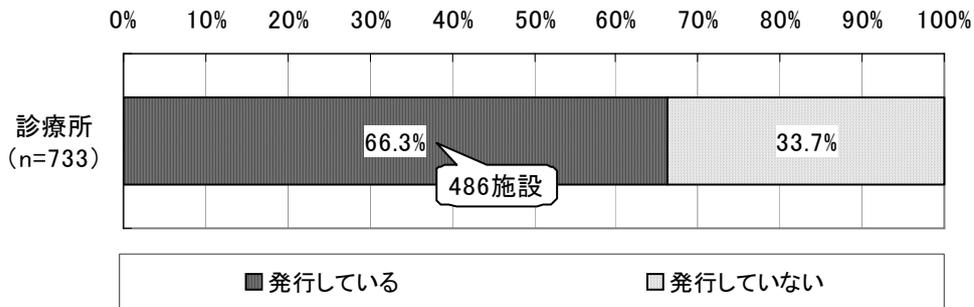
図表 69 1年前と比較した入院患者に対する後発医薬品の供給体制



⑧院外処方における後発医薬品の使用状況

1) 診療所における院外処方せん発行状況

図表 70 診療所における院外処方せん発行状況



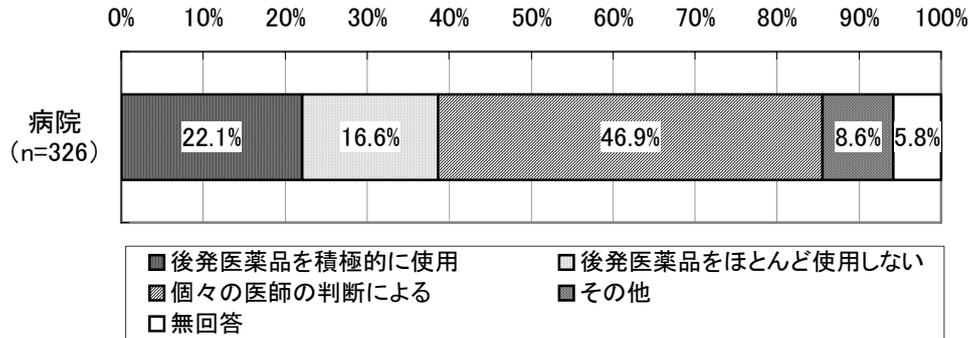
2) 外来診療の状況

図表 71 診療所・病院における外来診療の状況

	診療所 (n=733)			病院 (n=326)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①1 か月間の外来診療実 日数(日)	19.8	3.9	20.0	21.3	3.8	22.0
②1 か月間の外来延べ患 者数(人)	1,380.5	1,201.6	1,069.0	4,307.4	5,766.3	2,561.0
③1 か月間の院外処方せ ん発行枚数(枚)	802.9	860.4	645.0	2,134.7	3,079.1	1,152.5

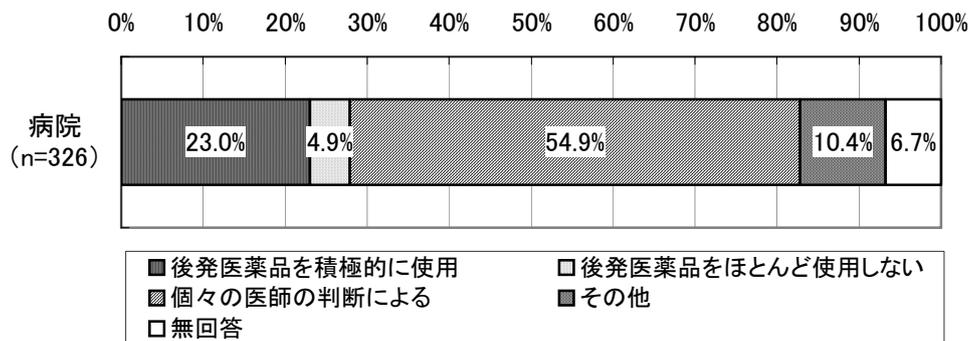
3) 病院における外来患者への院内投薬に際しての後発医薬品使用に関する施設としての対応方針

図表 72 病院における外来患者への院内投薬に際しての後発医薬品使用についての施設としての対応



4) 病院における外来患者に院外処方せんを発行する際の後発医薬品使用についての施設としての対応方針

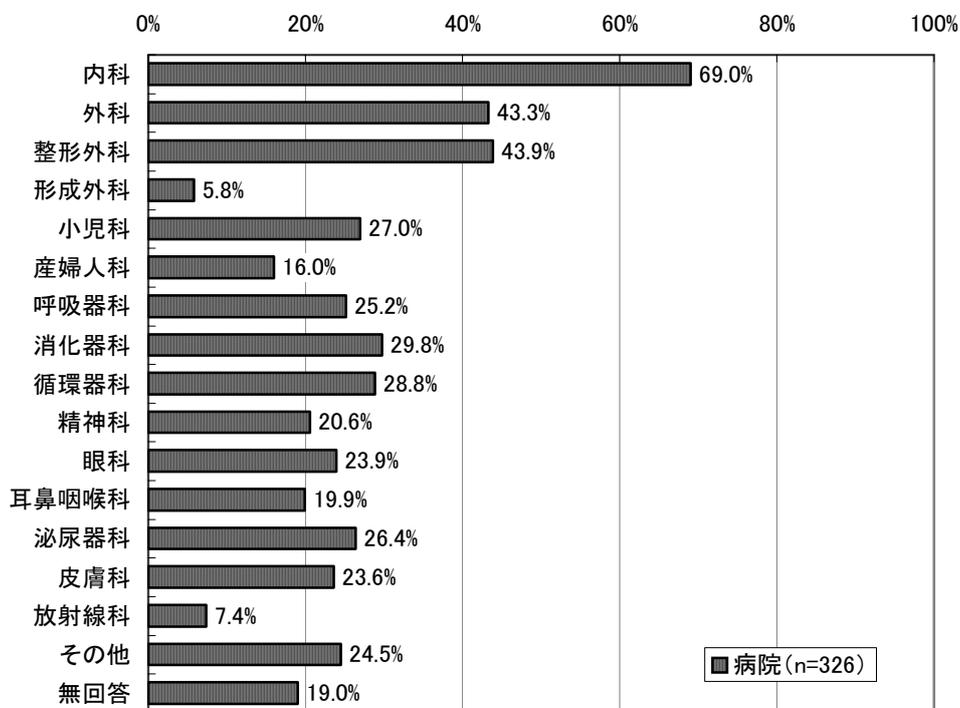
図表 73 病院における外来患者に院外処方せんを発行する際の後発医薬品使用についての施設としての対応



(注) 「後発医薬品を積極的に使用」とは、後発医薬品の銘柄処方のほか、院外処方せんの「後発医薬品への変更不可」欄に署名等を行わない場合を含む。

5) 病院における院外処方せんを発行している診療科

図表 74 病院における院外処方せんを発行している診療科（複数回答）



6) 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）

図表 75 外来診療における後発医薬品の処方の変化（1年前と比較して）（医師ベース）

